



社会基盤工学講座

准教授

 ほしかわ けいすけ  
**星川 圭介**  
 (1975生)

 農学博士  
 (京都大学・平成16)

## ■経歴

京都大学農学部農業工学科卒(平10.3) / 京都大学大学院農学研究科地域環境課学専攻博士課程修了(平15.3) / 同退学(平15.5) / 人間文化研究機構・総合地球環境学研究所産学官連携研究員(平15.5～平19.3) / 京都大学東南アジア研究所非常勤研究員(平19.4～19.10) / 京都大学地域研究総合情報センター助教(平19.11～26.3) / 富山県立大学工学部環境デザイン学講座講師(平26.4～29.3) / 同准教授(平29.4～)

担当科目	測量学Ⅰ・Ⅱ/測量実習Ⅰ・Ⅱ/地理情報システム/環境計画学/環境計画実習/環境計画論/プレゼンテーション演習/環境工学概論/専門ゼミ
専門分野	空間情報解析・計測/都市計画/農村計画/水文学/かんがい排水
論文・報告	[History, Structure, Function and Topographical Control of Traditional Irrigation Systems in Northeast Thailand] (学位論文) [Effect of terrain-induced shade removal using global DEM datasets on land-cover classification] (International Journal of Remote Sensing, 2014) [Classification of crop fields in northeast Thailand based on hydrological characteristics detected by L-band SAR backscatter data] (Remote Sensing Letters, 2014) [Analysis and attribution of trends in water levels in the Vietnamese Mekong Delta] (Hydrological Processes, 2015) [Detecting Flooding Trends in the Mekong Delta through Flood Ranking Based on a MODIS-derived Time-series Water Index. (International Journal of Remote Sensing Applications, 2016) [天水稲作卓越地域における農業土地利用変化と水文条件—タイ国東北部の事例—] (農業農村工学会論文集, 2017) [Determination of patterns of rainfall history creating situations for accurate classification of rain-fed paddy fields with SAR backscatter coefficients (Remote Sensing Applications: Society and Environment, 2018) [タムノップ—タイ・カンボジアの消えつつある堰灌漑] 共著 (めこん, 2009) [アジア経済研究所情報分析レポート: タイ2011年大洪水—その記録と教訓] 教編著 (アジア経済研究所, 2013)
著書	
所属学会	農業農村工学会(平12.4～) / 水文水資源学会(平17.4～) / 写真測量学会(平21～)
学外活動	日本貿易振興機構アジア経済研究所「タイ大洪水-2011年の教訓と再発への備え」研究会委員(平24.9～25.3) / 平成29年度農業農村工学会大会講演会座長(平29.6～9) / 富山県農業農村整備事業関係調査研究発表会審査員(平27～) / 同審査委員長(平30～) / 砺波市立砺波山村地域研究所所員(平29.4～) / 富山県農業農村整備推進委員会委員(平30.2～)
受賞歴	The Pacific Neighborhood Consortium 2010 Annual Conference General Poster Competition No.2 (平22.10)

## ■現在の研究課題

1. 水資源・土地利用管理のためのリモートセンシング解析技術の開発  
水資源・土地利用管理や防災上実用的なリモートセンシング技術の開発および方法論の確立を進めている。
2. 適切な土地利用の在り方に関する研究  
国内外諸地域を対象に、長期にわたる土地利用変化の実態を分析し、地域社会や農業の維持、防災の観点から適切な土地利用の在り方を考察している。
3. 東南アジアの巨大デルタにおける氾濫水の挙動に関する研究  
チャオプラヤーやメコンといった東南アジアの巨大デルタにおける氾濫水の挙動に土地利用変化やインフラ整備が与える影響を、リモートセンシング技術を用いて分析している。

## ■共同研究キーワード

リモートセンシング / 空間情報解析 / 土地利用 / 水資源 / 防災